



2019-2020 国際ロータリー第2790地区 第7グループ 成田空港南ロータリークラブ

事務局 〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 0479-80-1178

第2790地区 ガバナー 諸岡 靖彦
第7グループ ガバナー補佐 堤 正広

昭和41年10月6日創立 / 昭和41年11月21日承認
◆例会場 あづま庵 ◆例会日時 毎週木曜12:30点鐘
(夜間例会 18:00 点鐘)

URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp> E-mail: info@narita-airport-m-rc.jp

令和元年 12月5日発行 NO.2269 第2422例会 会長 市原 豊彦 幹事 上原 広嗣 会報委員長 安藤 卓造

例会報告(令和元年10月17日)

点 鐘 会 長 市原豊彦
ソ ン グ 「我らの生業」
唱 和 「四つのテスト」
会長挨拶 会 長 市原豊彦
幹事報告 幹 事 上原広嗣
プログラム

お客様ご紹介

国際ロータリー第2790地区 第7グループ
ガバナー補佐 堤 正広様
ガバナー補佐幹事 高橋敬彦様

ロータリー財団特別寄付 認証状・認証品贈呈
修了証授与

2018-19年度 第2790地区 RLIパートI 修了証
各委員会報告

「認証状・認証品贈呈」

ロータリー財団特別寄付 上原広嗣会員 (PHF)



堤ガバナー補佐/上原会員

「修了証授与」

2018-19年度 第2790地区 RLIパートI 修了証

倉石昌治会員



堤ガバナー補佐/倉石会員

会長挨拶



皆さんこんにちは。また、堤ガバナー補佐様、高橋ガバナー補佐幹事様ようこそ成田空港南RCへおいで下さいました。心より歓迎致します。後ほど、堤ガバナー補佐様には、お話を賜りたいと思いますので宜しくお願い致します。関東地方は、この10月も9月の再来のように、台風に見舞われましたが、皆さん被害などなかったでしょうか。今回の台風は少し進路が西側だったようでまだ助かったと思います。季節も何か早く過ぎているような感じもします。少し暑い日の次の日は少し肌寒くなったりと、健康で

いられることがやはり一番大切なことだと思います。
お体には、十分お気を付け下さい。

■ 幹事報告

○会報受領クラブ

- ・小見川RC

○その他

- ・漆原ガバナーエレクト
よりお礼状
- ・ガバナーノミニエジ
グネートの公表
- ・スリランカセミナーのご案内
- ・風の便り
- ・世界大会ハワイ旅行会社よりツアーのご案内
- ・コーディネーターニュース
- ・地区先達と語る「私のロータリー」の集いご案内
- ・日台ロータリー親善会議福岡大会
- ・ハイライトよねやま



■ 卓話



ガバナー補佐 堤 正広様

さて、昨年から、ガバナー補佐エレクトとして、これまで、補佐会議が8回、2日間に渡った会先月のロータリー情報研修会に御参加いただきありがとうございました。また、9月9日の台風15号、また先日の台風19号の被害状況はいかがでしょう？9月15日に鋸南町～館山市方面を訪問し拝見してまいりましたが、風により屋根瓦が飛び、窓ガラスの破損や建物の被害、看板等多くの建物の被害がございました。また、今回の台風19号では、関東地区を始め、東北に大きな被害をもたらしました。皆様方の早急なる復興、回復を願います。長エレクト研修セミナー、地区協議会等に参加し、諸岡ガバナーの方針や地区運営の考え方などについてお話したいと思います。令和の最初のロータリー年度が始まりました。平成の30年間は、歴史上大きな転換点と

なる峠をいくつも越えて来たように思われます。

世界的には1989年、平成元年11月、ベルリンの壁が崩れ東西冷戦は終結しましたが、その後、思ってもみなかった、全く違う政治的、社会状況が現われてきました。世界情勢も身近な社会の状況にも、格差と対決、そして分断が進んでおり、国内では1990年、平成2年、株価大暴落に端を発した金融危機、バブル崩壊や産業再編に至る未曾有のデフレ局面、「アベノミクス」という政府と日銀の金融・財政総動員政策の基に、経済成長が復活した局面、湯水のごとく市場にマネーを投じて思い通りに経済も社会も浮上しない今の局面と、混沌がなおも続いております。1995年、平成7年1月、阪神・淡路大震災から新潟県での中越地震、東日本大震災、熊本地震、平成30年の北海道胆振東部地震、最近の異常気象による豪雨災害をはじめとした自然災害が全国各地で多くの犠牲者を出しました。少子高齢化社会、働き方改革が叫ばれておりますが、うまく適応できず、人手不足は深刻さを増しております。見えないところで、地域社会の空洞化が進んでおります。ロータリーを巡る状況にも、それらの出来事は大きな影を落としております。RIマローニー会長は先の国際協議会で、会員増強が直近20年間で足踏みを続けてきていることに強い危機感を表明しております。かつてないほどに分断されている世界を再び結び付ける力は「ロータリー」にこそあります。ROTARY CONNECTS THE WORLD! 「ロータリーは世界をつなぐ」その役割を担うのは私たちロータリアンです。世界で比類なき基盤を有するロータリーを通じて、人類のすばらしい多様性につながり、奉仕と友情を通じて世界の人々をつなぎ、ロータリーを成長させ、新しい会員モデルをつくり、入会への新しい道を開き、新しいニーズにかなうロータリークラブとローターアクトクラブをつくりましょう。これがマーク・ダニエル・マローニー会長の念願です。諸岡ガバナーからは、会長はクラブで直接対話をされるので、その機会を大切にいただき例会、クラブの各会議、そしてクラブの事業、親睦活動や奉仕活動、或いは、クラブ内での協議の場での、お話す機会を大切にいただきたいと思います。特に例会では会長の時間の中でクラブの方々に語りかけていただき、その中で、特にお願いしたいのはロータリーの月間テーマであります。また、その時々々のロータリーの最新情報を、今の最新情報であれば、規定審議会でしょう。規定審議会は、3

年に一度のロータリー・クラブのそれぞれの定款に影響のある項目を審議することです。山田パストガバナーがアメリカからお帰りになり、これは7月30日に報告会が行われました。どの様な時期から反映させていくか?という課題もあります。これについては、山田パストガバナーを中心に検討し、また、国際ロータリーの日本支部からも情報が整理されてくると思います。それが整理された段階でできるだけ早く各クラブにご連絡をさせていただくという事を考えております。そのことについてご質問、お問い合わせがございましたらガバナー事務所を通してご質問いただきたいと思います。ロータリーの情報について、ロータリーの友、ガバナー月信をできるだけお読みいただく事が、一番大事なことです。当然、地域社会の動きをクラブの皆様方と協議されるということもあと思っています。例会を通じて、クラブの活動を通じて、会員の皆様方との対話とコミュニケーションを交わしていただきたいと思います。また、グループの会長・幹事会では、色々ご協議いただき、又、地区から、このようなテーマが、このような行事がある、ということの案内に対するそれぞれのクラブ単位での対応の意見交換や、ご討議を行い、グループ内のコミュニケーションを増やしていただきたいと思います。地区レベルでは地区委員長の方々とガバナー補佐との合同会議も年に6回ほど予定しており、地区チーム内でのコミュニケーションを交わしていく予定です。まずは、クラブ内、グループ内、そして地区内でのコミュニケーションを確実にこなして頂きたいと言う事がガバナーからのお願いでございます。次にガバナー公式訪問です。クラブからクラブ活動計画書をご提供いただき、クラブ活動計画書とガバナー補佐からの報告をベースにして準備を進めて訪問をさせていただきます。訪問の折には例会の前にクラブとの個別の懇談会を予定させていただきます。そして例会の中で20分程度の卓話をさせていただきます。クラブの会員の方々に国際ロータリーの現況をご報告するというのが中心になりますが、地区ロータリーの状況、或いは各クラブの背景となります地域社会の話題等を取り上げて、行く予定でございます。その後クラブ協議会でクラブの活動の様子を発表していただくという、例年のやり方で公式訪問を計画しております。特にクラブを、元気にということが諸岡ガバナーのテーマですので、本当にクラブが元気に活動しているのか

ということを見させて頂き、その辺について質問させていただきます。最後にロータリー情報研修会、インターシティ・ミーティング、についてです。ロータリー情報研修会は、上期中にガバナー補佐に主催をして頂いて、クラブの活性化について、元気なクラブになるためには、どうしたらいいんだろうということテーマとして議論していただきたいと思ひます。研修会のやり方は、すでにガバナー補佐に提示してあり、その一つの形として、基調講演では、地区の中のガバナー経験者の方々、それから、いろんな形でロータリーに貢献のある方々を講師にお呼びをして、お話を聞いてその上で共通のクラブを元気にする話題を皆さん方とともにご議論して頂く、又は基調講演ではなくて、パネルディスカッションや、円卓ディスカッション等で、ともかくクラブの現状、そしてまた元気になるための方策、或いはどういう物の考え方をし行ったらいいのかというようなことについて共同でご討議をいただき、ヒントを得ていただきたいと考えております。このプログラムの内容につきましては、地区委員会がいろいろお手伝いをさせていただきますので、まずはガバナー補佐と、どういう企画をしていったらよいかということについて会員の皆様方とと考えていただきたいと思います。次は下半期にインターシティ・ミーティングを企画していただき、ガバナー補佐が主催者となって、特に今回はロータリーを地域社会でもっと知ってもらいたい、或いは地域の方々にロータリーというものはどういう活動をしているのかということを具体的に、できれば行動で示して頂きたいと今年度は思っております。IMでは戸外に出て具体的に行動するための準備を議論していただく機会ということを考えて、具体的には5月中の気候が良くなる時季に、ちょうど7月からは東京オリンピック・パラリンピックが始まるという前段階になる頃です。そのタイミングをみて、グループの中で皆様方が参加しやすい場所と時を選んでいただきたいと思います。外へ出て「行動するロータリー」をアピールするような形のロータリーデーを是非設けていただきたいというのがガバナーからのお願いでございます。次に、当地区の年間目標についてですが、地区3,000名会員、300名女性会員、30名会員未満のクラブの基盤強化、3クラブの新設と数値で地区目標として掲げさせていただきました。現在、当地区の会員数は約2,800から2,900名を行ったり来たりしている状況で有りま

す。何とか、最終的には3,000名会員を安定的に確保できるレベルを目指していきたく、これは中期的な目標として、考えております。3,000名の会員に対して、1割の300名ほどは女性会員にしていきたく、また、現在、約200名の女性会員が居りますが、何とか300名にして行きたく、このことは、クラブの中に多様性を作っていくということにも繋がります。まだ、女性会員のおいでにならないクラブが約20クラブ程度ございます。もちろん女性会員がいる、いないというのはそのクラブの会員基盤の設定の仕方、このことは、問題ではありませんが、女性がいた方が多様性のあるクラブの展開ができるということが国際ロータリーでは推奨されております。これから若い人が少なく成って来る、ということに成りますと、経験豊かな女性会員がいらっしゃることが様々な意味で地域奉仕活動に対して大きな新しい戦力になるだろうと思います。ビジネス関係でもクラブの職業分類表をご覧になりながら、又、職業分類表の中で、地区内で、或いはクラブのテリトリーの中で新しい職業分類に取り入れるべき職業というのが多分出て来ているのではないのかと思います。その様な事も含めまして新しい職業の方々を是非クラブ会員として増強していくように、お計らいをしていただきたいと思っております。そしてクラブの純増で是非とも1名は確保していただき、それが、次のロータリー賞に繋がってまいります。毎年RI会長賞というのが設けられております。ロータリーは世界を繋ぐということでマローニー会長の方針、方向性、そしてロータリークラブ対象のロータリー賞、今年はロータリークラブ対象の他にローターアクトクラブ対象、インターアクトクラブ対象のロータリー賞が、設けられております。そんな意味でまずは会員を増強しながら人々を繋ぐ。そして行動する。そういうカテゴリーの中の課題を少なくとも5項目達成していただき、これを申告していただき達成するとロータリークラブ対象のロータリー賞に繋がるということでもあります。これは申告しなければなりませんので、申告するためにはロータリークラブセントラルというところにクラブの数値目標をあらかじめインプットしていただく作業が必要になります。その意味でも是非ともクラブの会員基盤、或いはクラブの活動の成果を高めていくために計画の入り口として設定していただき、これが、先々のクラブの長期戦略計画に繋がる発想の仕方、プロセスになるということです。

その次に推奨事項で、MY ROTARY に対する登録をお願いしたいと思います。これは会員の方々が登録をして利用して頂くと、ロータリークラブに対するいろんな情報が得られます。クラブの抱えている現実、そして会員数が過去数年間にわたってどんな風に変化したというクラブレベルのデータ、そのようなものを得ることができます。そうすることによって会員の動向をつかむことができますので、MY ROTARY に対する会員の皆様方の登録・認証をお願いいたします。さらにクラブにはクラブ会員に対する広報と同時に、地域社会の方々にロータリーの活動の内容をお伝えするホームページについても、メンテナンスをして行き、更新をすることが求められます。これについての相談がございましたら地区委員会の広報・公共イメージ向上委員会で、お手伝いすることができます。それから財団と、米山に関する寄付のお願いでございます。ロータリーの寄付金、特に財団の資金は、3年経ちますとその半分が地区に戻って参ります。それが地区補助金であり、グローバル補助金の原資になる仕組みが有ります。それが、地区の、クラブの奉仕事業に仕える補助金となって返ってまいります。そしてさらに、寄付は第二の奉仕であるとも言われます。奉仕活動の意味を十分にご理解いただいて、これはお気持ちの範囲で、少額でも結構ですので、進んでのご寄付をお願いいたします。寄付についての認識を明確にお持ちいただければと思っております。特にロータリー財団の活動資金として、年次基金というものがございます。年次基金についてはロータリー財団委員会が強調しておりますが、ここ数年日本のロータリークラブが全体でクラブから年次基金に対する寄付がなかった、ということを一掃しております。日本の一國で『寄付ゼロなし』は画期的なことです。年次寄付は上半期中にお済ませいただけるように会長や、ロータリー財団委員会の方々が中心になりまして、早めに年次寄付をお済ませいただくようお願いいたします。また、ロータリーカードについて説明させていただきます。櫻木パストガバナーが第1ゾーンのロータリーカード推進コーディネーターという役割についております。各クラブの費用の支払い、或いは地区の委員会の費用等につきまして、このカードを活用していただきますとその0.3%がロータリーのポリオに資金が回ります。ロータリーでは国際ロータリーとロータリー財団の二つが、ロータリー動かしております。お金の方はロータリー財団の管

理委員会が中心になって運用したり資金を集約したり或いは財団の活動をPRしております。ロータリー財団が国際ロータリーを支えているという言い方をしても言い過ぎではないと思いますが、私もロータリアン一人ひとりが財団を理解することが大事なことです。それが私どもの奉仕活動を支え、或いは奉仕活動の大きな目標を示してくれる、ということをご理解していただきたいと思いません。色々とお願ひ事ばかりになりましたけれども、ロータリー活動をしていくためには、まずクラブが元気になって行かなければいけないということです。自分たちのクラブについて、果たして今、現在の状態と、これから数年経つとどうなるのかということです。特に会員が30名以下のクラブでは、現在は大変元気にやっている、というクラブでも、数年経って会員増強がなされなければ、平均年齢がそのまま上がって行くということに成りますから、クラブの活性度は明らかに、落ちて行く、ということに成ります。今から会員増強していくとすれば、どういう新しい会員を選んでいったらよいのか？ということクラブの中で議論する。それがクラブの戦略計画を立てるということにつながっていきます。それと、同時にクラブは地域社会の中で様々な奉仕活動をされていると思います。その奉仕活動が時代の変化に対応して、新たに生まれてくる地域社会のニーズに答えているかどうか？これについて踏み込んでご議論していただき、そしてそれを、クラブ全体で議論していき、全員参加でクラブの計画について議論して、そして1年経ったところで次年度はどうしようか、ということの年々の積み上げをしていくと戦略計画が具体化していきます。クラブを元気にする為の、クラブの日々の運営、そして一年間の活動目標、そして数年後を視野に入れた戦略計画という形をクラブの中で一つずつ取り上げながら、確実に積み上げていくと、そのクラブは地域社会では、なくてはならないロータリークラブになり、又、地区内にあっては、有力なクラブになるのでは、ないでしょうか。ロータリーの未来を形づくるのはクラブです。刻一刻と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに力を注ぎ続けなければ成りません。地域に根ざすクラブは柔軟性と刷新性をもって、戦略計画を立て、地域の可能性を求めて誇りを取り戻さなければなりません。地区ロータリーを元気にするために、地区3,000名会員、300名女性会員、30名会員未満のクラブの基盤強

化、3クラブの新設を目指します。そして「ロータリーから千葉を元気に！」していきましょう。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコボックス

向後雅生君

…誕生日祝いありがとうございます。

古西弘和君

…奥様誕生日祝いありがとうございます。

青柳 誠君・小林定雄君・行木英夫君・市原豊彦君

高田一行君・小川佐内君・倉石昌治君・安藤卓造君

上原広嗣君・鈴木匡哉君

…ガバナー補佐堤様、ガバナー補佐幹事高橋様、ご来場頂きありがとうございます。

今後ともよろしくお願い致します。

ガバナー補佐堤様、ガバナー補佐幹事高橋様より

本日計	19,000 円
累計	294,004 円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
10月17日	32	18	26	69.23

☆ 欠席をしたらメーカーアツをしましょう ☆